

## 平成31年度 第6回 高松圏域自立支援協議会 相談支援部会 議事録

日 時：令和元年11月21日（木）9：30～12：00

場 所：かがわ総合リハビリテーションセンター2F 第1研修室

出席者：

障害者生活支援センターたかまつ、地域生活支援センターこだま、障害者生活支援センターあい、障害者地域生活支援センターほっと、障害者相談支援センターりゅううん、地域活動支援センタークリマ、支援センターこがも、相談支援事業所ライブサポートセンター、障害者相談支援センターつなぐ、生活支援センターサンサン、発達支援相談事業所まつばら、相談支援事業所ウルカ、相談支援事業所おりがみ、相談支援センターたまも、相談支援事業所夢、高松市社会福祉協議会障がい者相談支援センター、相談支援事業所ウェルネスサポート、障害者相談支援事業所かつが、特定非営利活動法人自立ケアシステム香川、障害者相談支援事業所ミルキーウェイ、相談支援事業所きやら、相談支援センター昭和町、あじの里地域生活支援センター、支援センターキラキラ、相談支援センターしののめ、支援センターあゆむ、高松医療センター特定相談支援事業所、相談支援事業所 EVEN、みき相談支援センター、相談支援事業所ナビット、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点（31 機関参加人数 50 名）

### 1、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点・相談支援部会合同研修会

「意思決定支援について」

①障害福祉サービスの利用等にあたっての意思決定支援ガイドラインについて説明がありました。

②「障害のある子どもへのコミュニケーション支援・指導について」

講師：香川県立高松養護学校 支援教育部長 谷口 公彦 先生

③質疑応答・感想

・支援者がこうじゃないかと思いついていっている場合もあり、本人が言った言葉だからと、本当に思っていることは違うかもしれない。本当の思いを知ることは、障害の重い軽いに関係なく大切なこと。

・相手とかかわるときに、様々なコミュニケーションの手段を活用し、相手の理解できることを見つけ、こちらが手段を合わせていくことが必要。

・赤ちゃんには、こちらが好みを探ろうとし、相手を理解しようと自然とできている。支援でも同じようにこちらが、コミュニケーションのずれを埋められるように工夫をする必要がある。

## 2、情報共有・周知

- ・障害者地域生活支援センターほっとに新しく職員が入りました。
- ・相談支援事業所おりがみに新しく職員が入りました。
- ・2月20日の相談支援部会で成年後見制度についての研修を行います。
- ・加算についての研修を1月の相談支援部会で行う予定です。事前にメールで意見をお伺いさせていただき、集約をして研修を行う予定ですので、ご協力をお願いいたします。
- ・相談支援専門員協会で1月18日、19日にストレングスモデルのGSVの研修を行います。ご希望の方はお申し込みをお願いいたします。場所：県立文書館。12月20日締め切り。
- ・相談支援専門員協会への申し込みをお願いいたします。入会をすると日本協会の情報も得ることもできますので、よろしくをお願いいたします。
- ・11月29日、30日全国支援ネットワーク研修があります。
- ・聴覚障害者の方へ手話通訳を依頼するときに、本人から依頼したら無料、計画相談から依頼したら有料になるが皆さんはどうされていますか？  
→本人から依頼をしてもらっている。必要であれば高松市のガイドブックにのっている。一緒に窓口に行ってみてはどうか。
- ・就労移行を利用している方で、一般就労につながるケース。計画としては終了になるが、お金の面で心配がある。計画から地域拠点につなげるタイミングはどうしたらいいか？  
→本人との関係性にもよるが、本人の了解のもと地域拠点と本人と計画相談でお互い話し合っ決めていけたらいいのではないか。
- ・募金についてのお願い。令和元年台風15号、19号による被災地への支援金について12月20日までの間募金活動を行うことになりました。相談支援専門員協会からメールにて周知いたします。

## 3. 地域の課題等の情報提供・共有

- ・知的部会より地域移行支援の取り組みを行っています。施設から退所をしたいという声を聞いたことや、希望を聞いたけど、できなかったことはありませんか？また皆様のご意見を教えてください。
- ・相談支援部会にて重度訪問介護についてのWGを作ります。

## 4. アドバイザー森さんより

坂出市では障害福祉サービスの支給量の見直しを行った。移動支援の支給率やヘルパーの運用について、通勤や通学に利用ができない件についての見直しや、軽度の方への支援を何人かをヘルパー一人で対応できないかなど柔軟な対応ができないか検討をしていく方向。高松市でも重度訪問介護のWGを作り、支給量の検討をすることは意味があると感じた。